

## Webシステム認証の番犬

リバースプロキシを利用、Webシステムに簡易に二要素認証による認証強化を実現！

課題

- ◆ 個人情報や機密情報を扱うWebシステムでは、不正アクセスによる情報漏えい等が発生した場合の影響範囲が大きく、より強固な認証が必要
- ◆ 既存システムに強固な認証を実現するためには、修正個所の特定や修正作業そのものに、大きな工数が発生

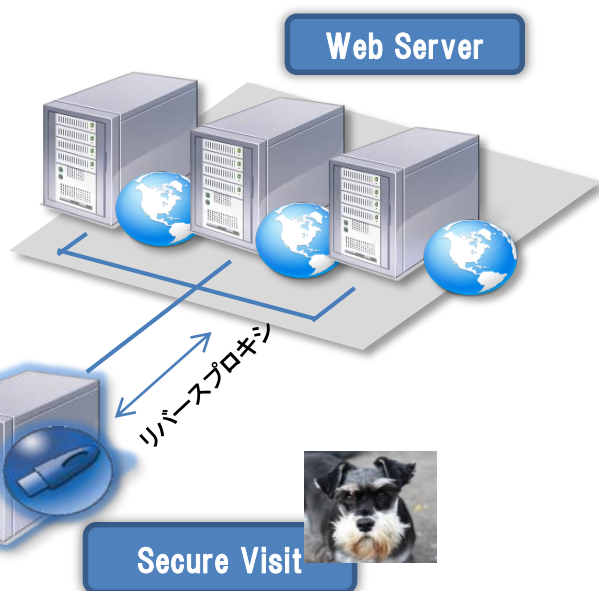
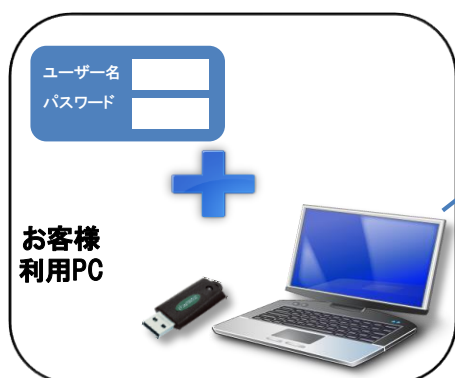
ご提案

- ・SecureVisitをリバースプロキシとして利用することで、従来のID、パスワードによる認証に、USB トークンを加えた二要素認証を導入することで、USBトークンを所有している本人のみにアクセスを限定し、不正アクセスの被害を防止する
- ・SecureVisitは既存のWebシステムに変更を加えることなく、簡単・迅速に二要素認証による認証強化を実現する

### システム利用イメージ

#### Web認証強化

従来から運用されているWebシステムを変更することなく「SecureVisit」をWebサーバーの前面に置くだけで、USBトークンによるWeb認証およびアクセス制御を実現します。





導入事例

ITベンダー様：健康保険組合向けWebシステム認証強化

課題

組合と健診機関をつなぐネットワークシステムを構築するにあたり「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」にて定める「2要素認証」が必要となった。

解決策

◆SecureVisitの導入

- ・リーバスポキシによりWebシステムのアクセス制御を実現。
- ・USBトークンによる二要素認証。

導入効果

- ・健康診断等、個人情報の事故リスクの観点で、ヒューマンエラーや郵便事故が情報漏えいにつながる経路を断ち切ることが出来た。
- ・全国の健診機関より業務効率面およびセキュリティ面で信頼を得ることにつながった。
- ・平成24年10月より全国約70箇所の健診機関にて、トラブルなくUSB認証キーが利用されている。

導入コスト例

100ユーザの場合

必要製品群	製品名	数量	標準価格(税抜)
認証サーバクライアントライセンス (ソフトウェア)	SecureVisit (100クライアント/1セット)	1 セット	756,000円
USBトークン	ePass1000ND USBトークン	100 本	350,000円
保守費用	年間保守費用		113,400円
		合計	1,219,400円

※SecureVisitサーバ用ハードウェアはお客様側でご用意頂く必要がございます(仮想環境でも動作可能)

製品仕様

SecureVisit

SecureVisitサーバ	
対応OS	RedHat Enterprise Linux ES5/ CentOS5
CPU	Celeron 1.7GHz以上
メモリ	1GB以上
ハードディスク	50GB以上
ネットワーク	Ethernet
管理コンソール	
対応OS	Windows 7/8 Windows Vista SP1/SP2 Windows XP SP1/SP2
ブラウザ	IE6以上 (32bit)(ActiveXが実行できること)
その他	USB1.1/2.0 空きポート2つ以上
クライアント	
対応OS	Windows 7/8 Windows Vista SP1/SP2 Windows XP SP1/SP2
ブラウザ	IE6以上 (32bit)(ActiveXが実行できること)
その他	USB1.1/2.0 空きポート2つ以上

評価キット無償貸出

■評価版 SecureVisit -無償貸出-



梱包物:

- ・USBトークン x 2本
- ・ソフトウェア
- ・マニュアル

弊社評価キットは認証システム構築時の検証に最適な評価版となっております。また、ご購入前に検証が行えるので、導入後のトラブルを軽減します。